

日蓮大聖人御書全集

おうにちどのごへんじ

王日殿御返事

新版
1716

おうにちどのごへんじ

王日殿御返事

こうあん

ねん

弘安3年('80)

59歳

おうにち

べんのぼう

びんぎ

さんびやくもん

こんどにひやくもん

た お

弁房の便宜に三百文、今度二百文、給び畢わんぬ。

ほとけ

まこと

とうと

もの

むかし

とくしようどうじ

すな

仏は真に尊くして物によらず。昔の徳勝童子は、沙の

もちい

ほとけ

くよう

たてまつ

あいくだいおう

う

いちえんぶだい

餅を仏に供養し奉って阿育大王と生まれて、一閻浮提の

しゆ

ひんによ

わ

頭

下

あぶら

な

主たりき。貧女の我がかしらをおろして油と成せしが、

しゆみせん

ふ

かぜ

ひ 消

に

須弥山を吹きぬきし風もこの火をけさず。されば、この二・

さん

がもく

にほんこく

し

ひと

くに

よ

しつぼう

とう

とうりてん

三の鵝目は、日本国を知る人の国を寄せ、七宝の塔を切利天

組上

勝

にくみあげたらんにもすぐるべし。

ほけきよう

いちじ

だいち

ばんぶつ

しゆつしやう

いちじ

法華經の一字は大地のごとし、万物を出生す。一字は

たいかい

しゆる

おさ

いちじ

にちがつ

してんげ

大海のごとし、衆流を納む。一字は日月のごとし、四天下を

照

いちじへん

つき

つきへん

ほとけ

いね

てらす。この一字変じて月となる。月変じて仏となる。稲は

へん

なえ

なえ

へん

くさ

くさへん

こめ

変じて苗となる。苗は変じて草となる。草変じて米となる。

こめへん

ひと

ひとへん

ほとけ

によにんへん

みやう

米変じて人となる。人変じて仏となる。女人変じて妙の

いちじ

みやう

いちじへん

だいじやう

しやかぶつ

一字となる。妙の一字変じて台上の釈迦仏となるべし。

なんみようほうれんげきよう

なんみようほうれんげきよう

きようきようきんげん

南無妙法蓮華經、南無妙法蓮華經。恐々謹言。

にちれん

かおう

日蓮 花押

おうにちどの

王日殿